

2020.7.19.



かながわ合唱指揮者クラブ

「今後の活動についてのお伺い」アンケート分析

1

アンケート実施概要

- 実施対象：かながわ合唱指揮者クラブ会員 89名
- 実施目的：コロナ禍における合唱活動の状況把握、及び連絡手段等の確認
- 実施期間：2020年6月19日～6月30日
- 実施方法：郵送による回答またはオンラインによる回答
- 回答者：62名（回収率69.7%）

2

現在の仕事の状況

N=62

	全くできていない	制限付再開	全面的再開
対面練習	37	12	0
オンライン・リモート	0	13	0

3

現在困っていること

N=55 (除未解答者7)

内容	件数	%
予定が立たない	14	25
モチベーション低下	7	13
会場の確保	8	15
練習に支障	10	18
リモートで苦勞	5	9

内容	件数	%
団員の心身の健康	3	5
仕事がない	3	5
団員間の意思疎通	2	4
再開後の不安	1	2
休団者が出た	1	2
特になし	1	2

4

公共施設に望むこと

N=42 (除未解答者20)

内容	件数	%
早く再開してほしい	13	31
対応に齟齬・不統一	11	26
合唱（活動）に対する無理解	7	17
対応には理解できる	6	14
今後の方針・対応が不安	4	9
検査体制を整える	1	2

5

合唱指揮者からの生の声 1

- 今後、感染症と共存しながら活動する合唱の形を模索しています
- コロナ禍が過ぎた後、音楽活動は、人と人との関係のあり方に大切な活動として、再評価されると思っております。私達は頑張らないといけません...
- 11月に開催予定の音楽祭も、市のホールで録画・YouTubeで流す事も考えている。市主導の公民館、ホール等でのコンサートは交通費を支給されている。中止になると支給されないが、市のYouTubeを活用する事で、出演者も交通費が出るので助かる。市の対応に感謝している。
- これから夏に向けてマスク着用ですと、熱中症になる危険があり水分を今まで以上に（気を使いながら）補充して行く事が必要と考えています。練習時の休憩時間の「おしゃべり」が要注意です。しっかり注意していきたいと思えます。
- 団員を含めた人々の歌に対する気持ちや、引いてしまっていることが気になります。

6

合唱指揮者からの生の声 2

- 他団の情報など教えていただけると参考になります。
- 合唱界として安心して歌える環境を整えるガイドラインのようなものを感染症の専門家から指南してもらえないでしょうか？個々の団に任せられているのは、安全確保の限界を感じます。現在は活動が再開できた場合に備えて感染対策を作成中です。
- 国や都のトップのサイエンスが無い！
- 使用する側もしっかりした対策をもって、責任を持って行動しなくてはなりません。
- オンラインではシークエンスソフトを用いてレコーディングとして各メンバーの声を合わせて合唱を作っており、伴奏もピアノだけでなくオーケストラやドラムを入れている。一人ひとりの声、音程、リズムを把握できるだけでなく、ソフトで修正も可能で、聴き映えのする合唱ができる。（2人）

7

合唱指揮者からの生の声 3

- 密集せずに合唱が出来るという事への理解を深めてもらう為のアピールをしていきたいと思います。
- 全日本合唱連盟のガイドライン提示を心待ちにしています。今後の活動を考える上で目安になると思うので行政にも示したいと思っています。
- 必要以上に感染を怖がり過ぎないように、団員の心のケアを大切に考えています。
- かながわ合唱指揮者クラブで助成金やコロナ対策、オンラインレッスン、コンサートの情報を共有したいです。
- 現在、出来ることは限られており、非常にもどかしく、残念ではありますが、私たちには我慢・辛抱の日々がまだしばらく続くと想像しています。アフターコロナを見据えて、我々合唱人が何をすべきか？何が出来るのか？全ての合唱人が考えなくてはならないと思うのです。指揮者も、歌い手も、「自分たちが楽しければ良い」という考えではもはや未来の合唱活動に希望を持つことは出来ません。

8